

第7期第2回神戸市立図書館協議会協議内容

日 時：令和3年8月3日（火） 14時～15時30分

場 所：神戸市立中央図書館2号館3階 閲覧室(2)

出席者：(委 員)湯浅会長、桜間副会長、元村委員、一居委員、

北川委員、田中委員、齊藤委員

(事務局)中央図書館長、総務課長、総務課担当課長、利用サービス課長、

調整担当係長、地域連携推進担当係長、整備担当係長、市民サービス係長、

子供サービス担当係長、調査相談係長、資料係長、総務課担当

傍聴者：5人

1 開会

- ・新委員紹介
- ・中央図書館長挨拶

2 報告

- (1) 令和2年度市民満足度調査結果について
- (2) 名谷図書館開館後の状況について
- (3) 電子図書館の実施状況について
- (4) 令和2年度利用実績及び令和3年度見込みについて
- (5) 令和3年度事業計画について
- (6) 新垂水図書館について

3 協議

- (1) 令和2年度神戸市立図書館事業評価（案）について

4 閉会

- ・新委員紹介
元村委員、川原委員（欠席のため事務局よりご紹介）
- ・中央図書館長挨拶

【報告（前半）】

事務局より報告。

報告事項（1）「令和2年度市民満足度調査結果について」（資料3）

- ・昨年度の調査結果について。感染症対策で実施方法に変更があった。

報告事項（2）「名谷図書館開館後の状況について」（資料4）

- ・開館後の状況と座席予約システム、開館前のイベントについて説明。

報告事項（3）「電子図書館の実施状況について」（資料5）

- ・令和3年1月より新電子図書館サービス実施。開始後の状況について報告。

【報告に関する質疑応答】

- （会長） 事務局から報告事項の1から3について説明があった。委員の皆さんからご質問ご意見をいただきたい。2021年7月6日付け神戸新聞オピニオン欄によると名谷図書館の評価は高いようだ。
- （委員） 期待して訪れたが蔵書数が少なくがっかりしたという話をきいた。座席予約システムについても詳しくききたい。
- （事務局） 名谷図書館の蔵書の件は、資料費を他の地域図書館より厚く配分しており、また、中央図書館の本や寄贈本を活用することで対応している。全体の資料費がひっ迫している中なので、徐々に増えていくことにご理解いただきたい。
- （委員） 座席予約システムに対応した座席数はどのくらいか。
- （事務局） 40席と1室の定員が4名のグループ学習室で、合わせて44席となる。それ以外にもスツールやソファなど、座席予約の対象ではない席もある。全体の中でおよそ3分の1強ぐらいが座席予約の対象になっている。
- （委員） 名谷図書館のほかにも新図書館の計画があるが、蔵書数に関して計画を立てているのか。
- （事務局） 新設の名谷図書館とは異なり、新しい西図書館には現在の蔵書を移し、新しく本を買い足す。現在購入のためのリストを作成しているところである。
- （会長） 私が見学に行った札幌市図書・情報館では滞在型の図書館を目指しており、貸出をしない。今の名谷図書館の状況は、本を借りられないということだけでなく、図書館に最新の情報がないということなりかねない。やはり資料費をなんとかしていく必要がある。
- （事務局） 本がないという状況に対し新しい試みをしている。札幌の図書館の例を参考にし、テーマ棚というのを設けた。多世代の方に来ていただける図書館を目指し、子育て世代・勤労世代・お年寄りの方を対象にそれぞれの世代の方が興味をもっていただけそうなテーマを全部で19個用意し、館内利用図書として常設している。
- （委員） 本棚が埋まっているのは書庫でよく、多少の余裕がある雰囲気づくり、配置構成が今後のためにも重要だと考える。

- (委員) 新しい電子図書館のシステムが始まったが、予約した本が届いた連絡がないことや本が借りたいときにないこともあり、登録したが現状は利用していない。貸出冊数と予約冊数が3冊に増えたことも今回初めて知った。それらを改善周知すれば利用者が増えるのではないか。
- (事務局) 図書館カードを持つ全員が利用可能ということも含め、PRは課題である。
- (会長) 予約到着通知が可能か確認できるか？
- (事務局) 現在図書館システムとは連携していない。令和5年の1月にシステム更新があり検討中である。
- (会長) 電子図書館とOPAC(オンライン閲覧目録)が連携していないのは大問題である。ぜひ連携させてほしい。
- (事務局) 検討させていただく。

【報告(後半)】

事務局より報告。

報告事項(4)「令和2年度利用実績及び令和3年度見込みについて」(資料6)

- ・コロナの影響も含め昨年度の実績報告と、今年度の見込みについて説明。

報告事項(5)「令和3年度事業計画について」(資料7)

- ・令和3年度の事業について目標や要点を解説。

報告事項(6)「新垂水図書館について」(資料8)

- ・前回(案)であった方針の完成版の紹介と報告。

【報告に関する質疑応答】

- (委員) 垂水図書館は開館して29年になるとあるが図書館は何年で建て替えるのか。何年先までの見通しを持っているのか？
- (事務局) 決まってはいない。機能を向上させ、30年より長く使いたいと考える。
- (委員) ぜひいい図書館を作っていただきたい。
- (会長) 重要な指摘である。例えば、新聞や雑誌というメディアが30年後どうなるか。7千タイトル以上の世界の新聞がみられるデータベース「PressReader」が、大学では一般的に導入されている。新聞の置き方や見せ方が変わってきている。今すぐ紙ものがなくなるというわけではないが、今後は図書館建築にしても書架などに関しては可変的な、可動的なものであればと思う。
- (委員) 計画資料を見ると、図書館の面積が倍になるのに対し蔵書数は現状と変わらないようだ。将来的に増えるのか。また、図書館以外にも計画があるようだが。
- (事務局) 滞在型の、ゆとりをもって皆で過ごせるような空間を作りたい、そういったものを設けたいと考えており蔵書数は大幅増とはならない。多様な利用に合わせ車寄せも整備する。
- (会長) 貸出数の減少には入館者数の減少がある、外出控えという分析であった。新型コロナウイルス感染症の影響で人の触れた本に抵抗があることが、書籍消毒機

ともつながっている。実態を調査されたか。

(事務局) 調査はしていないが、市民の方からいただいたご意見の中には、本を消毒してほしいとか、一定期間図書館に置かないよう除けてほしいとか、そういったご意見を非常に少数ではあるが、いただいた。ただ、中央図書館はまだしも、地域図書館はバックヤードが非常に狭く、取り置くことはほぼ不可能な状態。ということもあり、一番大事なのは手洗い手消毒だろうということ、こちらで利用者の方をお願いするという形で対応させていただいている。

(会長) 書籍消毒機を導入する効果や、除菌の程度は検証しているのか。

(事務局) 書籍消毒機は一般的な菌やほこりを落とす。新型コロナウイルスに関してはまだ実証はされていないというふうに言われている。

(会長) 来館者のハードルを下げ、本を借りやすい状況をつくることを意図しているという理解でよろしいか。

(事務局) 少しでも利用しやすいようにということである。

【協議】

事務局より説明。

協議事項 (1)「令和2年度神戸市立図書館事業評価(案)について」(資料9)

・事前に図書館案を各委員に送付し、回答をいただいた。評価と付随するご意見を【図書館協議会の評価・意見】として各項目に記載。

【協議事項に関する質疑応答】

(委員) 2点お伺いしたい。まず1つは、地域資料の充実に関して。神戸らしい書架になり魅力につながるが、何を基準に購入タイトルを決めるのか、そのあたりどんな風に考えておられるのかということお伺いしたい。もう1つは、本の福袋について。子どもにも大人にも非常に好評のようだが、準備が大変ではないのか。どういう風に選び準備をされるのか。

(事務局) 中央図書館と地域図書館とではやはり視点がかなり変わってくる。中央図書館の場合は、神戸市や兵庫県に関する本を網羅的にできるだけたくさん収集したい。それらを保存して後世に伝える役割もある。地域図書館の場合は、もう少し市民の手に取りやすいようなものを、地域性を考えながら購入している。

(委員) 資料にリストアップされている本はリクエストがあったのか？

(事務局) リクエストというわけではなく、地域の資料については、郷土資料の担当者がアンテナを高くし常に探している。例えば、地域のことについて自費出版されたという新聞記事とか、そういうものも丹念に集めている。

(事務局) 福袋について、実際に行った地域図書館の話では、ある程度ターゲットを絞ったほうが借りる方も選びやすいということ。三宮図書館ではビジネスマン対象など。他の地域では、表に書き出しを一部書いてみたり、選んだ本のタイトルを自分でつけ直してみたり、という工夫をしている。創意工夫をした方が利用

者にも届きやすいようだ。垂水図書館では、袋の中に感想カードを仕込み、利用者に感想を書いていただく試みも行った。工夫の余地がある中でそれぞれ楽しみながら苦勞しながらやっている。

(委員) 利用者とのやり取りが生まれ、図書館員の力量が試されるようだ。

(事務局) そのとおりである。

(委員) 学校園との連携についてお願いがある。2年生の生活科で図書館を見学するが、中止になると学習する機会がなくなってしまふ。今年も昨年同様にタイミングを見計らって依頼させていただくことになるだろう。このような状況中ではあるが、できる限り受け入れをお願いしたい。

(事務局) できるだけ見学の受け入れをしたいと考えている。前年度は、ビデオで図書館に訪問した形にするなど、図書館から出かけて行って説明させていただいた。学校と連携しやり方を工夫しながら行いたい。

【閉会】

(事務局) 次回は来年2-3月に開催を予定している。事務局より日程調整の連絡をするのでお願いしたい。